

2022 年度学会賞・学会功労賞・奨励賞・女性 Analyst 賞候補者推薦について

日本分析化学会は、2022 年度の学会賞・学会功労賞・奨励賞・女性 Analyst 賞受賞候補者の推薦を受け付けております。

日本分析化学会会員で、標記候補者の推薦を希望される方は、下記の規程を参照のうえ、10 月末日までに所属支部の学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞・女性 Analyst 賞候補者推薦委員会にて、推薦理由書（A4 判（縦に使用）用紙にワードプロセッサを用いて 1,200 字以内）に文献リストと候補者の略歴を添えて、文書及び電子ファイルの双方にて、お申し出ください。

『学会賞規程』

- 第 1 条 本会に学会賞（以下本賞という）を設け、本会の正会員にして分析化学に関する貴重な研究をなし、その業績を本会論文誌及びその他の論文誌に発表した者の中から、特に優秀なる者にこれを贈呈する。但し、学会功労賞受賞者及び技術功績賞受賞者は受賞できない。又、同一年度の学会功労賞及び技術功績賞の受賞候補者となることはできない。
- 第 2 条 本賞の贈呈は、毎年 3 件以内とする。
- 第 3 条 本賞は、賞状及び賞牌とし、年会において贈呈する。
- 第 4 条 本賞を受けた者は、年会において学会賞受賞講演を行う。
- 第 5 条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7 号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。
- 第 6 条 支部長は、各支部ごとに学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞候補者推薦委員会（以下支部推薦委員会という）を設ける。
- 第 7 条 会員は、その所属する支部推薦委員会に 10 月末日までに候補者を推薦することができる。
- 第 8 条 候補者の推薦に当たっては、所属支部の範囲に拘泥せず、全国的視野において行う。
- <以下省略>

『学会功労賞規程』

- 第 1 条 本会に学会功労賞（以下本賞という）を設け、本会の正会員にして日本分析化学会及び分析化学の発展に多大な貢献をなした者で、受賞の年の 1 月 1 日現在、30 年間以上引き続き本会会員であり、満 55 歳以上の者にこれを贈呈する。但し、学会賞受賞者及び技術功績賞受賞者は受賞できない。又、同一年度の学会賞及び技術功績賞の受賞候補者となることはできない。
- 第 2 条 本賞の贈呈は、毎年 5 件以内とする。
- 第 3 条 本賞は、賞状及び賞牌とし、年会において贈呈する。
- 第 4 条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7 号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。
- 第 5 条 支部長は、各支部ごとに学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞候補者推薦委員会（以下支部推薦委員会という）を設ける。
- 第 6 条 会員は、その所属する支部推薦委員会に 10 月末日までに候補者を推薦することができる。
- 第 7 条 候補者の推薦に当たっては、所属支部の範囲に拘泥せず、全国的視野において行う。
- <以下省略>

〔注記〕 学会功労賞は、次のような業績が対象となります。

- (1) 本会の発展に対する功績、(2) 分析化学の教育における功績、(3) 分析化学の国際交流における功績、(4) 本会の本部・支部の役員としての功績、(5) 本会の各種委員会・研究懇談会における功績、(7) 本会の本部・支部事業等における功績、(8) その他分析化学による社会的功績

『奨励賞規程』

- 第 1 条 本会に奨励賞（以下本賞という）を設け、本会の正会員にして受賞選考の時期までになされた分析化学に関する研究が独創的であり、将来を期待させる研究者で、受賞の年の 4 月 1 日現在で満 38 歳以下の者に、女性もしくは企業に所属する者については受賞の年の 4 月 1 日現在で満 45 歳以下の者に贈呈する。
- ② 研究業績は、本会論文誌又はその他の論文誌、及び特許等の知的財産を対象とし、いずれも公表されたものでなければならない。
- ③ 受賞の基礎となる研究業績が共同研究の場合は、主たる研究者について適用する。
- 第 2 条 本賞は、毎年 5 件以内とする。但し、大学及び公的研究機関に所属する者については 4 件以内とする。1 件以上は企業に所属するものに授与することが望ましい。
- 第 3 条 本賞は、賞状及び賞牌とし、年会において贈呈する。
- 第 4 条 本賞を受けた者は、年会において奨励賞受賞講演を行うほか、本会論文誌「分析化学」に受賞研究に関する論文を投稿しなければならない。
- 第 5 条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7 号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。
- 第 6 条 支部長は、各支部ごとに学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞候補者推薦委員会（以下支部推薦委員会という）を設ける。
- 第 7 条 会員は、その所属する支部推薦委員会に 10 月末日までに候補者を推薦することができる。
- 第 8 条 候補者の推薦に当たっては、所属支部の範囲に拘泥せず、全国的視野において行う。
- <以下省略>

『女性 Analyst 賞 規 程』

- 第1条 本会に女性 Analyst 賞（以下本賞という）を設け、本会会員、非会員にかかわらず、分析化学に関する優秀な業績をあげた女性研究者、女性技術開発者あるいは女性企業経営者に、これを贈呈する。但し、学会賞、学会功労賞、技術功績賞受賞者は、受賞できない。また、同一年度の学会賞、学会功労賞及び技術功績賞の受賞候補者となることはできない。
- 第2条 本賞の贈呈は原則として毎年2件以内とする。
- 第3条 本賞は賞状及び賞牌とし、年会において贈呈する。
- 第4条 本賞を受けた者は、年会において女性 Analyst 賞受賞講演を行う。
- 第5条 会長は、各支部長、研究懇談会委員長並びに本会女性研究者ネットワークに推薦を依頼する。
- 第6条 推薦者は、1月末日までに推薦書、推薦理由書、履歴書及び説明資料を会長に提出する。
- 第7条 本賞候補者の選考は、女性 Analyst 賞審査委員会（以下審査委員会という）において行う。
- ＜以下省略＞

2022 年度技術功績賞候補者推薦について

日本分析化学会は、2022 年度の技術功績賞受賞候補者の推薦を受け付けております。

日本分析化学会会員で、標記候補者の推薦を希望される方は、下記の規程を参照のうえ、所属支部長又は団体会員（維持会員、特別会員及び公益会員）代表者にお申し出ください。

『技術功績賞 規 程』

- 第1条 本会に技術功績賞（以下本賞という）を設け、本会会員にして分析技術の向上、あるいは、分析技術による社会的貢献に関し、業績の著しい者の中から、特に優秀なる者にこれを贈呈する。本賞は、本会正会員を中心とするグループに贈呈することもできる。但し、学会賞受賞者及び学会功労賞受賞者は受賞できない。又、同一年度の学会賞及び学会功労賞の受賞候補者となることはできない。
- 第2条 本賞の贈呈は、毎年3件以内とする。
- 第3条 本賞は、賞状及び賞牌とし、年会において贈呈する。
- 第4条 本賞を受けた者（グループにおいてはその中心となる者）は、年会において技術功績賞受賞講演を行う。
- 第5条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。
- 第6条 会員は、候補者を所属支部の支部長又は団体会員代表者に推薦することができる。
- 第7条 支部長又は団体会員（維持会員、特別会員及び公益会員）代表者は、候補者を会長に推薦する。
- 第8条 候補者の推薦に際しては、次の書類、正各1通及び副各1通（但し、説明資料を除く）を1月末日までに会長に提出する。
- a) 推薦書〔所定の用紙〕、b) 推薦理由書〔A4判用紙を縦（1行45字×40行）に使用し、本文及び業績リスト（主要なもの）はそれぞれ2枚以内で作成すること〕、c) 被推薦者履歴書〔所定の用紙〕、d) 説明資料〔特に重要な報告の別刷など審査の参考となる資料〕

＜以下省略＞

〔注記〕

- 1) 推薦書の団体会員代表者は、本会に登録されている代表者名を記入してください（代表者を変更される場合は、あらかじめ変更届を提出してください）。
- 2) 所定の推薦書類を入用の場合は、返信用封筒（切手120円添付）を同封のうえ、下記技術功績賞係あてにお申し出ください。なお、電子ファイルをご希望の場合は shomu@jsac.or.jp へご連絡ください。
- 3) 推薦書類提出期限：2022年1月末日（郵送の場合は、当日消印のあるものまで受理します）。なお、推薦理由書が規程（上記第8条b）の書式、枚数）に従っていない場合は受理しません。
- 4) 推薦書類提出先：〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号 公益社団法人日本分析化学会技術功績賞係〔電話：03-3490-3351〕

2022 年度先端分析技術賞候補者推薦について

日本分析化学会は、2022 年度先端分析技術賞受賞候補者の推薦を受け付けております。

標記候補者の推薦を希望される方は下記の規程を参照のうえ、10月末日までに日本分析化学会のいずれかの支部の支部長または研究懇談会の委員長並びに（一社）日本分析機器工業会専務理事（JAIMA 機器開発賞）あてにお申し出ください。

『先端分析技術賞 規 程』

- 第1条 本会に先端分析技術賞（以下、本賞という）を設け、先端的分析技術開発（機器開発、分析・評価技術開発、分析用新規物質の開発、など）や実用化において、優秀なる業績と展開性を示した個人あるいはグループにこれを贈呈する。
- 第2条 本賞は、（一社）日本分析機器工業会（以下 JAIMA という）のスポンサーシップによる JAIMA 機器開発賞によって構成される。
- 第3条 本賞は、毎年2件以内とする。

お知らせ

第4条 本賞は、賞状、賞牌及び副賞とする。

第5条 本賞を受けた者は、受賞記念講演を行うほか、本会論文誌「分析化学」に受賞研究に関する論文を投稿しなければならない。

第6条 本会会長は、毎年会誌「ぶんせき」7号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載するとともに JAIMA 機関誌夏号に掲載を依頼する。

第7条 本賞への応募者は自薦・他薦を問わず、本会支部長、本会研究懇談会委員長または JAIMA 専務理事あてに必要書類を定められた期日までに提出する。

第8条 支部長、研究懇談会委員長または JAIMA 専務理事は、候補者を会長に推薦する。

第9条 候補者の推薦に際しては、次の書類正各1通及び副各1通（但し、説明資料を除く）を1月末日までに会長に提出する。
a) 推薦書〔所定の用紙〕, b) 推薦理由書〔A4判用紙を縦（1行45字×40行）に使用し、本文及び業績リスト（主要なもの）はそれぞれ2枚以内で作成すること〕, c) 被推薦者履歴書〔所定の用紙〕, d) 説明資料〔特に重要な報告の別刷など審査の参考となる資料〕

<以下省略>

☆

☆

【照会先】支部の推薦委員会並びに研究懇談会宛先は下記のとおりです。

北海道支部 : 〒002-8502 北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1 北海道教育大学札幌港化学教室内
rin-k@kdr.biglobe.ne.jp

東北支部 : 〒960-1296 福島県福島市金谷川1 福島大学共生システム理工学類分析化学研究室内
takagai@sss.fukushima-u.ac.jp

関東支部 : 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学理工学部分析化学研究室内
jsac-kanto@jsac.or.jp

中部支部 : 〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須1-35-18 中部科学技術センター内
s.matsushita@c-goudou.org

近畿支部 : 〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター内
mail@bunkin.org

中国四国支部 : 〒739-8526 広島県東広島市鏡山1-3-1 広島大学大学院先進理工系科学研究科分析化学研究室内
ishizaka@hiroshima-u.ac.jp

九州支部 : 〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1 熊本大学大学院先端科学研究部内
jsac_kyushu@jsac.jp

研究懇談会

液体クロマトグラフィー : 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ305号

ガスクロマトグラフィー : 〒859-3298 長崎県佐世保市ハウステンボス町2825-7 長崎国際大学薬学部薬学科

高分子分析 : 〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200 中部大学応用生物学部応用生物化学科

X線分析 : 〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学大学院工学研究科内

化学センサー : 〒559-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 大阪府立大学大学院工学研究科内

有機微量分析 : 〒468-8503 愛知県名古屋市中区八事山150 名城大学分析センター

分析試薬 : 〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744 九州大学大学院理学研究科化学専攻

溶液界面 : 〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1 大阪大学大学院理学研究科化学専攻

電気泳動分析 : 〒501-1196 岐阜県岐阜市大学西1-25-4 岐阜県立大学機能分子学大講座薬品分析化学研究室内

イオンクロマトグラフィー : 〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1 高知大学教育研究部総合科学系複合領域科学部門

フローインジェクション分析 : 〒470-0392 愛知県豊田市八草町八千草1247 愛知工業大学工学部応用化学科

環境分析 : 〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1 東京薬科大学生命科学部内

表示・起源分析技術 : 〒120-8551 東京都足立区千住旭町5 東京電機大学工学部応用化学科内

熱分析 : 〒259-1293 神奈川県平塚市土屋2946 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス

レアメタル分析 : 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

溶液反応化学 : 〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学教育研究院自然科学系数理物質科学系列

電気分析化学 : 〒606-8585 京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科内

ナノ・マイクロ化学分析 : 〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院内

バイオ分析 : 〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科

スクリーニング分析 : 〒110-0015 東京都台東区東上野4-10-3 ASANOビル1階101号室

(株)神戸工業試験場生産本部技術開発部内

(一社)日本分析機器工業会専務理事宛先

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 第一アマイビル3F